

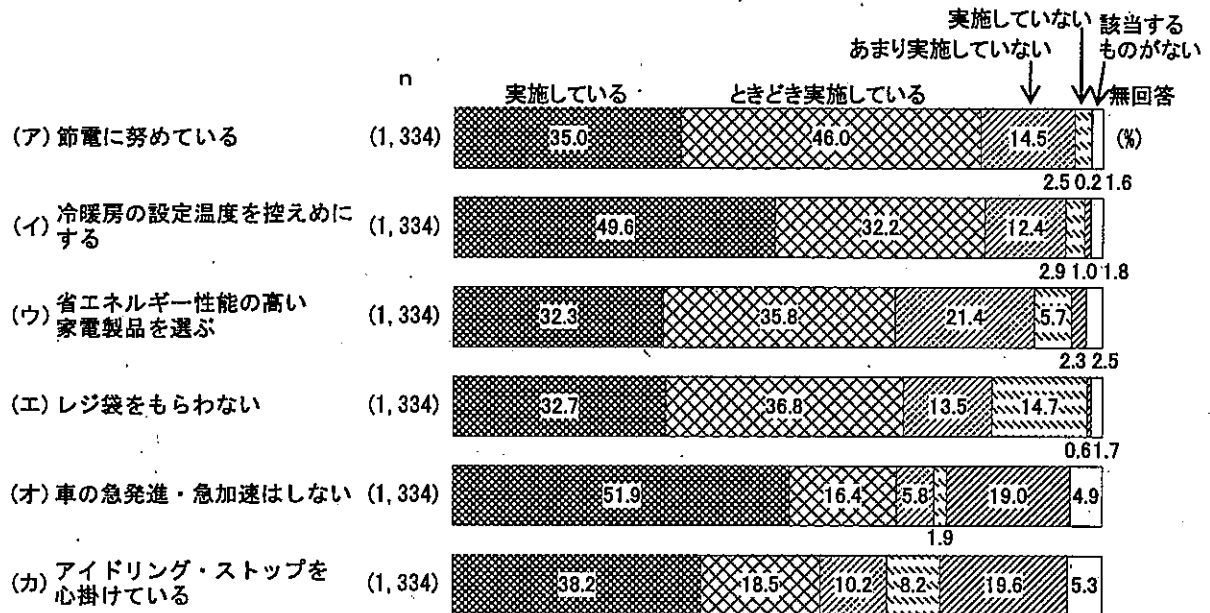
（6） 普段の生活で行っている環境保全の取組

◇『実施している（計）』が最も高いのは〈冷暖房の設定温度を控えめにする〉と〈節電に努めている〉で8割を超える

問6 あなたは、普段の生活で環境に配慮した次のような取り組みを行っていますか。

（○はそれぞれ1つつ）

＜図表1-16＞ 普段の生活で行っている環境保全の取組

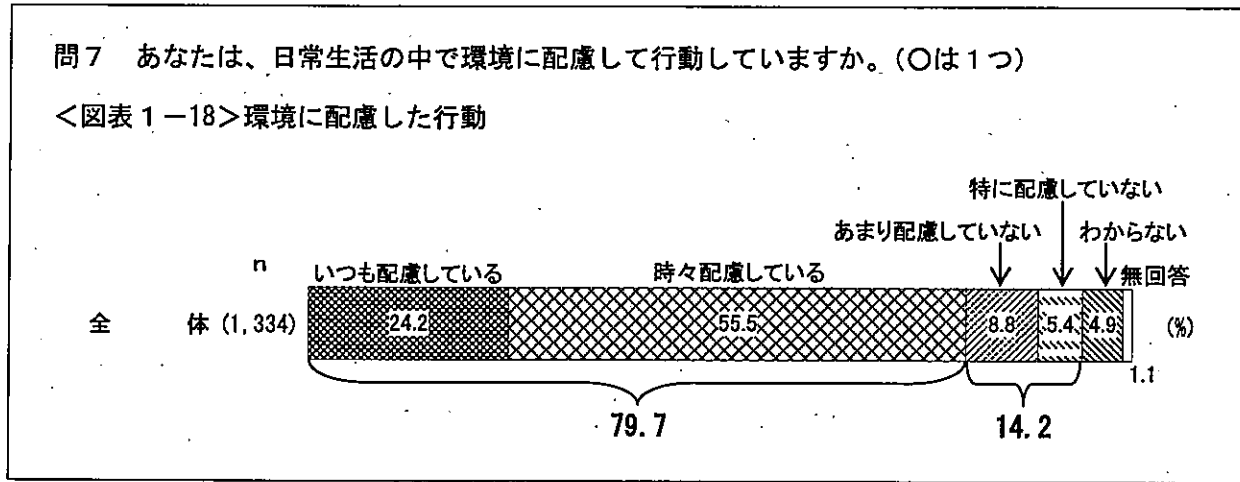


普段の生活で行っている環境保全の取組に関する6つの項目について、それぞれの実施状況を聞いたところ、「実施している」と「ときどき実施している」を合わせた『実施している（計）』が最も高いのは、「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」(81.8%)と「(ア) 節電に努めている」(81.0%)で8割を超えており、以下、「(エ) レジ袋をもらわない」(69.5%)、「(オ) 車の急発進・急加速はしない」(68.4%)、「(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」(68.1%)が約7割で続く。

一方、「あまり実施していない」と「実施していない」を合わせた『実施していない（計）』が最も高いのは、「(エ) レジ袋をもらわない」(28.2%)と「(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」(27.1%)で約3割となっており、以下、「(カ) アイドリング・ストップを心掛けている」(18.4%)と「(ア) 節電に努めている」(17.1%)が約2割で続く。(図表1-16)

(7) 環境に配慮した行動

◇『配慮している(計)』が約8割



日常生活の中で環境に配慮して行動しているか聞いたところ、「いつも配慮している」(24.2%)と「時々配慮している」(55.5%)を合わせた『配慮している(計)』(79.7%)が約8割で高くなっている。

一方、「あまり配慮していない」(8.8%)と「特に配慮していない」(5.4%)を合わせた『配慮していない(計)』(14.2%)は1割台半ばとなっている。(図表1-18)

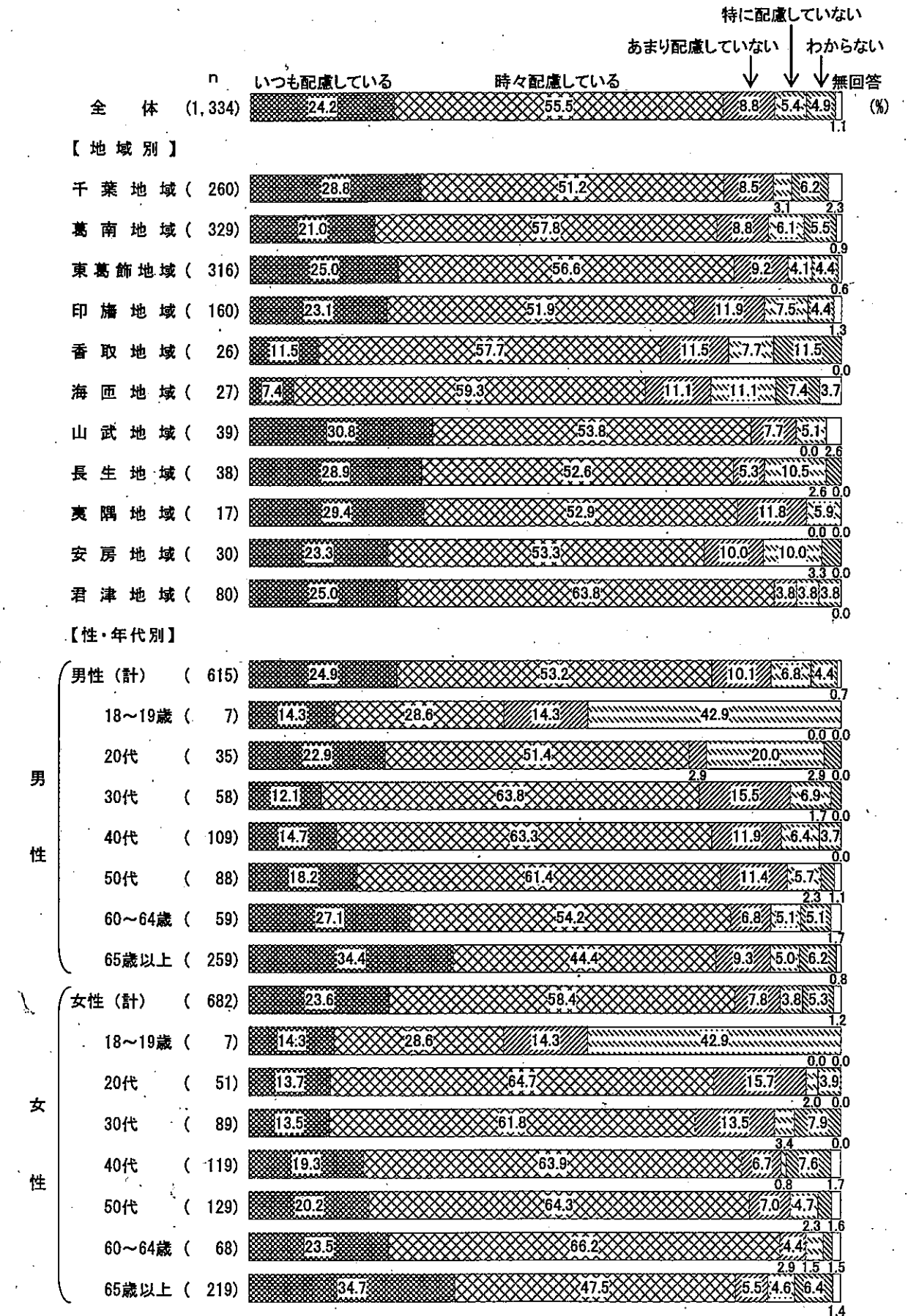
【地域別】

地域別にみると、『配慮している(計)』は“君津地域”(88.8%)が約9割で高くなっている。(図表1-19)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『配慮している(計)』は女性の60~64歳(89.7%)が約9割で高くなっている。(図表1-19)

<図表1-19>環境に配慮した行動/地域別、性・年代別

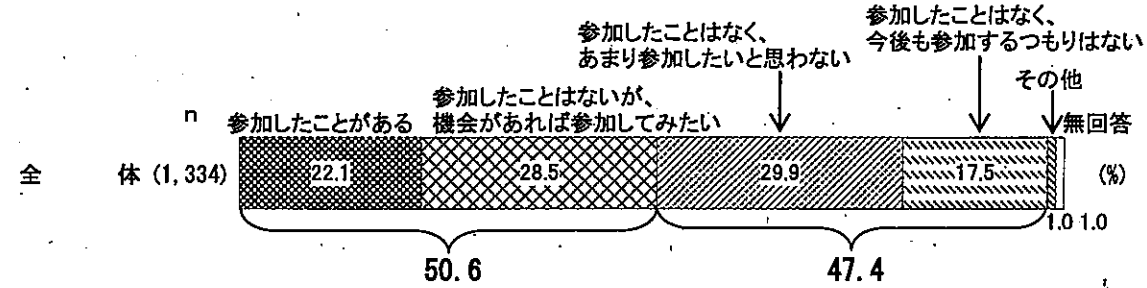


(8) 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティアへの参加状況

◇『参加意向あり(計)』が5割

問8 あなたは、これまでに県・市町村などの行政や民間団体などが実施する環境保全に関する講演やセミナー、あるいは植林や清掃活動などの環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。(〇は1つ)

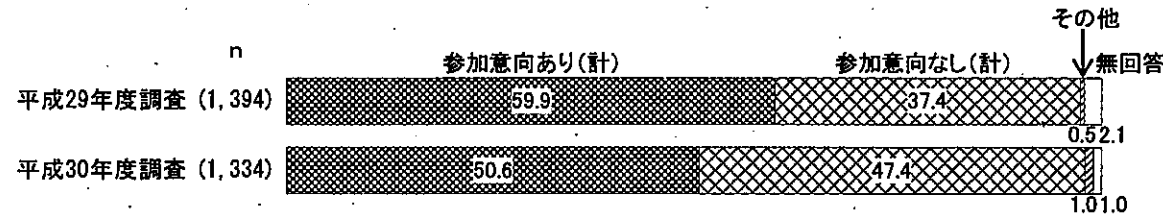
<図表1-20>環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティアへの参加状況



環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティアへの参加状況を聞いたところ、「参加したことがある」(22.1%)が2割を超えており、これと「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」(28.5%)を合わせた『参加意向あり(計)』(50.6%)が5割となっている。

一方、「参加したことはない、あまり参加したいと思わない」(29.9%)と「参加したことはない、今後も参加するつもりはない」(17.5%)を合わせた『参加意向なし(計)』(47.4%)は約5割となっている。(図表1-20)

【参考】平成29年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



※平成29年度調査は、「第55回県政に関する世論調査」の調査結果を掲載

【地域別】

地域別にみると、『参加意向あり(計)』は「印旛地域」(60.0%)が6割で高くなっている。一方、『参加意向なし(計)』は「葛南地域」(54.4%)が5割台半ばで高くなっている。

(図表1-21)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加意向あり(計)』は女性の60~64歳(66.2%)が6割台半ば、女性の65歳以上(57.5%)が約6割で高くなっている。

一方、『参加意向なし(計)』は男性の40代(70.6%)が7割で高くなっている。(図表1-21)

<図表1-21>環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティアへの参加状況/地域別、性・年代別

